

令和5年度 事業計画書

2023.4.1 - 2024.3.31



令和5年度 社会福祉法人 啓友会 事業計画書

計画の期間／令和5年4月1日～令和6年3月31日まで

はじめに ～スタッフの皆さんへのメッセージ～

「何でこの仕事をしているの？」皆さんは、家族や友人からこのような質問を受けた事はありませんか。または自問自答した事がありますか。「何のためにこの仕事をしているのか、何を目的としているのか」この核心をつくような問いに、皆さんならどのように答えるでしょうか。家族や友人、同僚、恋人、次代を担う少年少女達にどのような言葉で伝えるでしょうか。

「生活のため」、「お金のため」、「プライベートのため」などの答えは決して間違いではありません。生活を営み、人生を豊かにする「手段」としての「お金」を目的とすることは、働く動機として揺るぎのない事実であり、その事実を歪めることはできません。また取り繕う余地もありません。しかし、単に「お金を得ること」だけが目的や理由であれば、今の仕事でなくてもよいこととなりますし、福祉を生業としている理由の答えにはなっていません。

人は誰もが自分らしく生きたいという内面的欲求（自己実現欲求）を持っています。社会や集団に属し、「働く」という社会参加を通じて、人生をより良く自己実現していくためには、「お金のため」だけじゃない何か別の理由が必要です。そのため、多くのビジネスパーソンは意識的にあるいは無意識的にお金ではない別の理由や目的を持っていると私は考えます。しかし、その目的や理由を言語化できるか否かでは大きな違いがあると思います。仕事をする上でのバックボーンを明確に持っている人と、そうでない人（漠然としている人）では、仕事の質や成果に大きな違いが出ると感じるので。

わたしは、法人を取り巻くあらゆるステークホルダー（利用者、利用者の家族、職員、職員の家族、地域住民、行政、関係諸団体、福祉施設、その他社会全般）に、「南海寮は良い法人・施設」と思われたいという想い・信念によって行動しています。「ここを利用してよかった」、「ここで働けてよかった」、「南海寮があってよかった」これらの声に自他共に胸を張ってお応えできる法人でありたい——。この想いがわたしの行動原理であり目的です。そして、やり方や方法は違って同じような価値観や、わたしの想いに共感してくれる人たちの輪を拡げていきたいと思っています。その人たち（職員の皆さん）と共に汗を流し、理想をデザインし、目的を達成したいという切なる願望があります。

さて、皆さんはどうでしょうか。「何のために仕事をしているのか」「なぜ今の仕事をしているのか」という問いにもし答えられないのであれば、今一度自分自身と対話してみましょう。「利用者と共に成長したい」、「人を楽しませたい、喜ばせたい」、「誰かの幸せのお手伝いをしたい」、はたまた「誰かに認められたい、褒められたい」など、何かしらの答えがあるかもしれません。究極は登山家ジョージ・マロリーの「そこに山があるから」のように、「目の前に利用者がいるから、あるいは困っている人がいるから」という理屈ではない答えもあるかもしれません。いずれにしても、皆さんの中で何かしらの答えが見つかった時、仕事の意義や目的を認識した瞬間にあなたの仕事の質は劇的に変わることでしょう。そしてあなたから生み出される仕事の「価値」は飛躍的に向上するはずで。

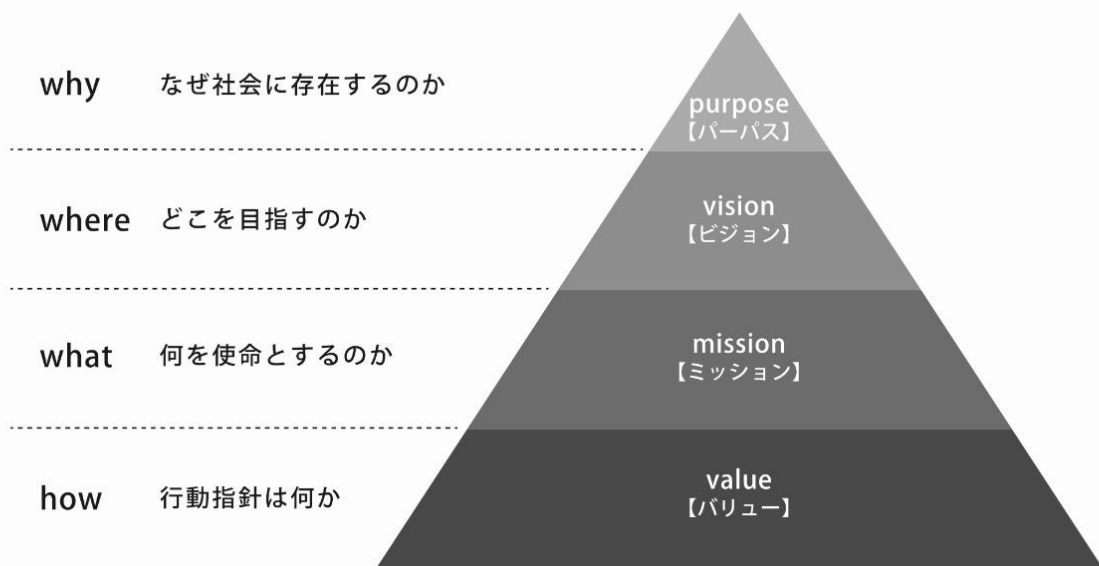
「なぜやるのか、何のため、誰のためなのかを常に考え、志を立てよう。」

～ 仕事の質、価値を高めよう ～

僕たちが普段いただいている「給料」っていうものは何なのか？この質問に対し、日本人の99.99%が「自分が提供した労働量に対する対価」「働いた分だけもらえるもの」と答えると思います。でもそれは間違いです。どういうことかという、例えばおにぎりを握ったとして、それを「お腹いっぱいAさん」に売ると、「お腹ペコペコのBさん」に売るとではまったく価値が違いますよね。Aさんにこのおにぎりを売るとしたら、多分50円くらいにしかなりません。一方のBさんに売ったら、きっと500円くらいで買われます。提供した労働力は一緒なのに、おにぎりの値段が違う。これはどうしてなのかと言うと、提供している価値が違うからです。この話からわかる通り、給料というのは「提供した“価値”への対価」なのです。

キングコング 西野亮廣

(1) 啓友会の存在意義及び理念



1. 【パーパス（目的）】なぜ社会に存在するのか

社会福祉法人啓友会の存在価値は、利用者のニーズや地域ニーズに依拠した社会福祉事業及び公益的な取り組みを展開するところにある。その中で、福祉サービスを必要とする人たちに必要なサービスを提供し、利用者の幸福実現を目指す。また、地域の福祉課題解決についても積極的に取り組み、地域福祉の推進と発展に寄与することで社会に貢献していく。

2. 【ビジョン（目指すべき姿）】どこを目指すのか

- 利用者のための（利用者本位の）施設またはサービス
- 利用者、あるいは障害を持つ方の豊かな生活
- 地域の中での普通の「暮らし」
- 地域に根差した（地域に必要とされる、地域になくてはならない）法人・施設

3. 【ミッション（使命）】何を使命とするか？

- 安心・安全・信頼のサービスの提供

わたしたちは常に安心・安全と信頼されるサービスの提供に努めます。

- 誰からも必要とされ、求められるサービスの探求と実践

わたしたちは常に利用者本位のサービスを基本とし、専門性の向上と創意工夫に努めます。

- 働く人が輝ける魅力ある職場環境づくり

わたしたちはスタッフ個々のパーソナリティを尊重し、成長する機会を与え、それぞれが輝くことのできる魅力ある職場環境づくりに努めます。

- 日々進化し変わり続けるチャレンジ

わたしたちは現状に満足することなく、常に前進するためのチャレンジをし続けます。

- 地域をより良くする地域福祉創造

わたしたちは共に支え合う地域づくりのために積極的に行動します。

4. 【バリュー（価値）】行動指針は何か



（2）実施する事業

【障害者支援施設 南海寮】 事業所番号 4313000459

生活介護事業、施設入所支援事業、短期入所事業、日中一時支援（天草市、苓北町、上天草市）、生計困難者に対する相談支援事業（社会福祉法人経営者協議会）

【通所センターあいむ】 事業所番号 4313000764

生活介護

【南海寮グループホーム】 事業所番号 4323000036

共同生活援助（介護サービス包括型）

【相談支援事業所なんかい】 事業所番号 4333000620

特定相談支援事業

【相談支援事業所なんかい】 事業所番号 4373000159

障害児相談支援事業

(3) 事業の内容

【生活介護】

施設入所者及び、自宅等から通所利用される利用者の方々への日中活動の場として、自立促進と生活の質の向上を図るとともに、生活全般において必要な介護、創造的活動や生産活動、レクリエーションなどの機会を提供し、健やかで生き生きとした日常生活への支援を実施する。

【施設入所支援】

居住の場を提供し、生活全般において必要な介護を行うとともに、それぞれのライフステージにあった、健康的で安全な暮らしを提供する。

【短期入所】

居宅において生活されている方に対して、家庭の事情等で自宅での生活が困難な時や、介護を行う家族等のレスパイトケアとして宿泊を含め短期間の入所を行い、日中活動と併せて生活全般における必要な支援を提供する。

【日中一時支援】(天草市、苓北町、上天草市委託事業)

日中において監護する者がいない場合や放課後等において、一時的な見守り等の支援が必要な障害児者等の日中における活動の場を確保し、必要な支援を提供する。

【共同生活援助】

地域の中で自立に向けた日常的な暮らしを支援する。生活全般における介護をはじめ、調理や洗濯、掃除等の生活に関する相談及び助言、支援を行う。

【特定相談支援】

サービス等利用計画書及びモニタリングの作成を行う他、障害のある方や家族からの相談に応じ、情報提供や助言を行うとともに市区町村及び障がい福祉サービス事業所等の連絡調整を行う。

【障害児相談支援】

サービス等利用計画書及びモニタリングの作成を行う他、障害のある児童やその家族からの相談に応じ、情報提供や助言を行うとともに市区町村及び障がい福祉サービス事業所等の連絡調整を行う。

【生計困難者に対する相談支援事業】

生計困難者に対する相談支援事業(レスキュー事業)：コミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、対象者に対し相談支援を実施する。既存の制度や社会資源活用の他、制度を超えた支援等も含め関係機関や当該支援事業所と連携して実施する。

(4) 令和5年度の重点計画

1. 施設入所支援の定員変更
2. 通所支援部門の体制構築及びふれあい棟1階のリノベーション
3. 近隣地域住民等を対象としたマルシェの企画・実施

1. 入所支援の定員変更

実施時期／10月～12月

利用者の高齢化・重度化への対応、またサービスの向上と個別支援の充実を図ると共に、将来的な人材確保難への対応、利用者の地域移行等の多角的観点を踏まえ、施設入所支援サービスの利用定員を60名から55名に減員。またこれに伴い、生活介護も利用定員70名から65名に減員する。

2. 通所支援部門の体制構築及びふれあい棟1階のリノベーション

実施時期／11月～3月

通所利用者の個別支援の充実や感染症等発生時における対策強化を図るため、これまで入所利用者と一元的に展開してきた支援体制と職員体制の見直しを図る。通所支援部門に専従の職員を配置すると共に、サービスを提供する専用の活動空間として、ふれあい棟1階を設定し、そのための大規模改修工事を実施する。

3. 近隣地域住民等を対象としたマルシェの企画・実施

実施時期／9月

地域における公益的な取り組みの一環として、法人と地域とのより良い関係構築を目的とした標記マルシェを企画・実施する。

※コロナ2019等の感染状況によって延期・縮小・中止の場合がある。

(6) その他の短期計画

1. 嘱託医の配置
2. 地域における公益的な取り組み
 - ①生計困難者に対する相談支援事業等を通じて、市場原理では満たされない課題、制度の狭間となっている領域にある福祉的課題の解決に努めます。

※障害者支援施設南海寮（生活介護、施設入所、短期入所）指定更新（令和5年9月末まで）

(7) 主な年間行事計画

- 4月 家族会総会
- 5月 創立記念食事会
- 7月 第三者委員会
- 8月 ビアガーデン、天草地区施設親善スポーツ大会
- 9月 なんかいマルシェ
- 10月 秋祭り・家族面談会
- 12月 餅つき・忘年会
- 1月 どんどや
- 2月 第三者委員会

(8) 法人運営

公益性や公共性といった社会福祉法人としての社会的責任を自覚し、地域ニーズに応じた事業を展開する。また、ESG 経営やパーパス経営の視点で社会福祉法人としての使命を果たすため、ガバナンス機能の充実や透明性の確保、コンプライアンスを遵守した法人運営・経営を行います。

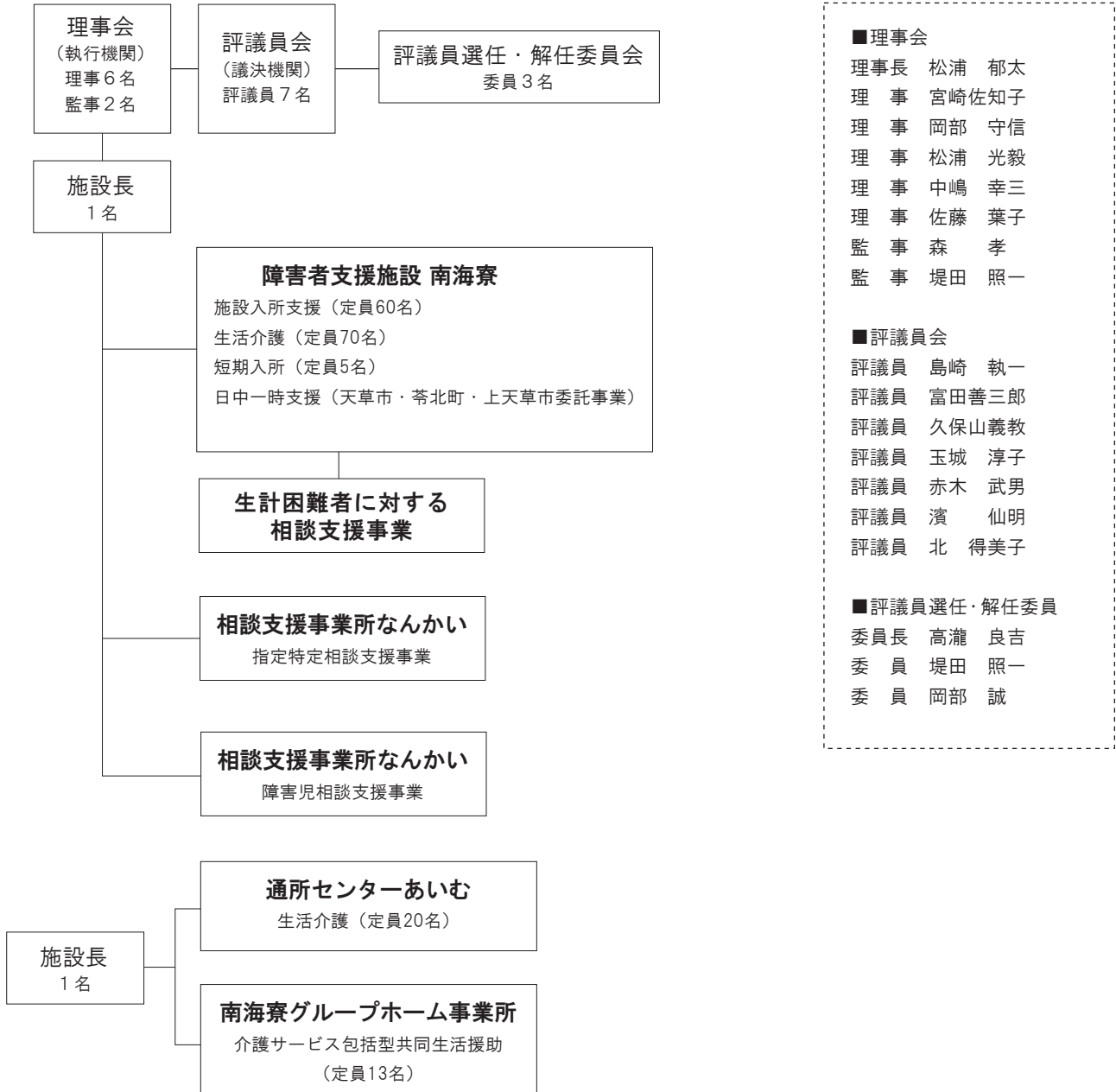
- 5月 監事監査、理事会
- 6月 定時評議員会
- 11月 理事会
- 3月 理事会

(9) 施設整備、建物補修、備品購入等の計画

1. ふれあい棟1階の大規模改修（11月頃着工予定）
2. 本館2階エアコンクリーニング（4月）
3. 福祉車両の購入（7月）

社会福祉法人 啓友会 組織体系図

R.5.4.1現在



勤務体制

管理・事務部門

理事長	松浦 郁太	※管理者(南海寮グループホーム事業所、通所センターあいむ)
施設長	松浦 光毅	※管理者(障害者支援施設南海寮、相談支援事業所なんかい)
事務長	佐藤 葉子	
支援課長	松浦 徳彦	※サービス管理責任者兼務(障害者支援施設南海寮、通所センターあいむ)
係長	大仁田美穂	※サービス管理責任者兼務(障害者支援施設南海寮、南海寮グループホーム事業所)
事務員	竹崎 栄喜	
非常勤事務員	立川 智恵	

入所支援部門(さくら)

主任	唐津 伸康					
副主任	井上千恵美					
支援員	森山 房雄	金子 孝史	大中 佑介	中尾 豊	田淵 竜法	石阪 太新
	江浦 遼	濱田 真也	石原 美恵	浦本 玲子	松本 昌子	小川 明奈
	神田 眞美	橋口 佳歩				
非常勤	玉田 義彦	有馬 康博	田尻 町子	門口 美香	船田 雄喜	岡部起世美
	砂原喜枝子					

入所支援部門(ひまわり)

副主任	坂本 悠介	金子 史				
支援員	田中 雄三	池田 恭輔	入船 友輔	金子 恵三	山本 貴寛	立川 啓
	松本 蛍太	門東 大輔	倉田 一平	松下加津美	鶴戸 愛	松下ひかる
	村里 文	松本 成美				
非常勤	岡部 誠	松本 廣作	松浦 絹雄			

ショートステイ・日中一時支援

相談員・支援員	松本かおり	立川 啓	倉田 一平
---------	-------	------	-------

相談支援部門・生計困難者に対するレスキュー事業

相談支援専門員(係長)	松本かおり
相談支援専門員	山本富喜子 原田 幸真
CSW	山本富喜子 原田 幸真

医務

看護師(副主任)	原田 公子
看護師	小野 理恵

給食

管理栄養士(副主任)	田中 佳子					
調理員	有馬みゆき	荒巻 奈月	高見美和子	井上卯多子	藤木 洋子	田中 弘美
	柴田こずえ					
非常勤	宮本 優菜					

通所センターあいむ

センター長	中嶋 幸三				
副主任	京塚 香菜				
支援員	藤木 博文	浦上 寛司	和田 咲貴		
非常勤	田川 あゆ				
看護師	大塚 叶子				

グループホーム

支援員(非常勤専従)	倉田 美晴				
支援員(兼務)	浦上 寛司	入船 友輔	松下ひかる		
世話人	鶴戸 善美	堤田美枝子	木下 君子	石橋 千加子	

用務員

非常勤	野崎若菜	吉永 有紗	若杉朴斗
-----	------	-------	------